

おお まつ
大 松

～心の架け橋～



香住小学校学校だより
第30号
平成29年6月の2
香美町立香住小学校

○運動会を通して成長した子ども達

6月10日、風の吹くさわやかな晴天の下、始まった運動会。入場行進からきびきびとした動きで予演会の反省を活かした子ども達。大きな声でのエールの交歓と「運動会のうた」の大合唱が香住の空に響き渡りました。ラジオ体操の後の5年生のリレーも、さすが高学年と思わせる迫力ある走りでした。おかげで、次に続く演技もとても引き締まった素晴らしいものになりました。



それぞれの子ども達が、準備から整列、退場まで予演会の反省を踏まえ、自分が、今何をしなければならぬか考え行動する場面が多く見られました。各テントの応援にも熱がはいり、運動会の雰囲気盛りあがってきました。高学年の係りの仕事もさすがでした。自分の演技だけでなく、係りの仕事をこなしてから集合場所に向かう姿には、高学年としての誇りすら感じられました。演技する児童はもちろん、それを支えるいろんな場面で、それぞれの児童の頑張りがキラッと輝く運動会となりました。ペア学年演技や、綱引きでは、雷管がなるまで勝負がわからないほど、おおいに盛り上がりました。最後の高学年の表現は、今持てる力を全員で出し切った感動の演技となりました。来賓の皆様、地域の皆様から、「6年生の走りは迫力があつたよ」「どの演技も一生懸命で、元気をもらいました」「みんながんばっていました」などの言葉をいただきました。

きびきびした動きで午前中を予定より早く終わり、それに合わせて午後のスタートを雲と風の動きを考えながら少し早めて実施しました。ご迷惑をおかけしたかもしれませんが、おかげで閉会式も最後まで実施することが出来ました。



運動会を通して、子ども達はそれぞれの場面で主役となり輝き、「力をひとつにして取り組む」すばらしさを体験することができました。

来賓の皆様、地域の皆様、保護者の皆様の、温かい声援に改めて感謝します。ありがとうございました。

運動会当日になりました。私は「ドキドキ」がとまらなくなりました。けれど、みんな(仲間)がいると思っただらがんばろうと思いました。リレーと最後の表現になりました。みんな気合いいっぱいはいっていて、最後の演技、表現を終えることができました。赤組が優勝できなかったけど、最後の運動会を自分にとってくいのない、いい運動会ができたなと思いました。

・・・「6年生の言葉より」(一部略)

◎「定時退勤日」を毎週、金曜日として取り組んでいます。

・香住小学校では、子ども達の教育に、教職員が毎日健康に取り組めるよう、毎週金曜日を「定時退勤日」として取り組んでいます。超過しがちな勤務で教職員が体調を崩せば、本人はもとより子ども達に迷惑をかけることとなります。勤務の適正化を図りながら、これからも子ども達の教育に熱意をもって取り組んでまいります。